

令和2年度

シラバス

2年生(第18期生)



徳島県立富岡東高等学校羽ノ浦校

看護科

令和2年度 (国語) 科 シラバス

教科 科	国語	科 目	国語表現		単 位 数	3単位	学 年	看護科 2 年
教科 書	国語表現(京都書房)			副 教 材	準拠学習ノート(京都書房)			
評価 方法	・出席状況 ・定期考査 ・授業への取り組み(関心・意欲・態度) ・課題テスト ・小テスト ・週課題 ・提出物(課題, 作品等)							

学期	月	学習内容(単元名)	配当時間	評価規準
1	4	ステージ1 表現のイメージをつかむ (一)話すこと	4	スピーチのポイントを理解し、自己紹介ができています。
	4	ステージ1 表現のイメージをつかむ (二)書くということ	5	誰がその文章を読むのかを考え、文章を書く目的と伝えたい内容をはっきりとさせて書けている。
	5	ステージ2 表現のスタイルを知る (一)的確に話す	6	話し言葉の特徴を知り、聞き手を意識してスピーチができています。
	5	ステージ2 表現のスタイルを知る (二)記録・説明の文章を書く	6	事実を正確に、客観的に伝える技法を身につけ、記録・説明の文章が書けている。
	6	ステージ2 表現のスタイルを知る (三)意見文を書く	6	他者の理解や共感を得ることのできる文章が書けている。
	6	ステージ3 表現のテクニックを磨く (四)小論文を書く	9	自分の意見や考えを膨らませ、論理的で説得力のある構成を用いた小論文が書けている。
	7・9	ステージ3 表現のテクニックを磨く (一)調査したことを発表する	7	客観的で公平な視点をもって調査を行い、意味のある情報になっている。

学期	月	学習内容(単元名)	配当時間	評価規準
2	8			
	9	ステージ3 表現のテクニックを磨く (二)討論をする一話し合う	10	討論・ディベートをする目的を理解し、自分の考え深め問題解決方を探っている。
	10	ステージ2 表現のスタイルを知る (四)通信文を書く	8	様々な場面に応じた通信手段の使い分けや注意点を理解している。
	11	ステージ3 表現のテクニックを磨く (三)報告の文章を書く	8	報告することを文章で分かりやすく伝えている。
	11	ステージ4 表現のルーツを知る (一)言葉の歴史・文章の変遷	8	言葉の歴史や文章の変遷について理解し、語彙の知識を深めている。
	12	ステージ4 表現のルーツを知る (二)日本語表現の特色と異文化	7	日本語の表現の特色について理解し、望ましいコミュニケーションのあり方について考えを深めている。

学期	月	学習内容(単元名)	配当時間	評価規準
3 学期	1 ・ 2	ステージ5 創作者になろう	5	
		(一) 詩歌をつくる		創作した詩歌を発表し合い、自己の感受性を高めている。
	2	ステージ5 創作者になろう	8	
		(二) 随想を書く		随想の題の付け方や表現方法、又草構成の仕方などを考え、自分のなりの随想を書いている。
	2 ・ 3	ステージ5 創作者になろう	8	
		(三) 小説を書く		主題の設定、場面設定、登場人物の造形、について考え、目田な発想で小説を書いている。

令和2年度 地理歴史科 シラバス

教科	地理歴史科	科目	日本史A		単位数	2単位	学年	看護科 2 年
教科書	現代の日本史(山川出版社)		副教材					
評価方法	・出席状況 ・定期考査 ・授業への取り組み(関心・意欲・態度) ・課題テスト ・小テスト ・提出物(ノート,宿題) ・週課題							

学期	月	学習内容(単元名)	配当時間	評価規準
1 学期	4	第1章 開国と維新	6	・近代国家が形成される過程について、国際情勢を踏まえ、その知識を身に付けているか。
		1 明治維新の背景		
		2 開国とその影響		
		3 政治秩序の崩壊		
		4 明治維新と連続的改革		
		5 対外関係の変革と内乱の終結		
	5 6	第2章 近代国家の形成と発展	15	・領土画定について、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。
		1 立憲政治をめざして		
		2 憲法の制定と議会の開設		
		3 東アジアの国際環境と条約改正問題		・東アジアの国際環境の変容と日本の大陸進出の過程について、国内政治と民衆の反応について考察できたか。
		4 清国との戦い		
		5 藩閥・政党の対立と協力		
		6 ロシアとの戦い		・領土編入の経緯について関心を高めるとともに、基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けているか。
	7	第3章 産業化の推進と国民生活の変化	4	・日本における産業革命達成の過程と国民生活について、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用しているか。
		1 産業革命の進展		
		2 資本主義の確立とその特色		
		3 社会問題の発生		
		4 国民文化の形成		
		5 国民生活の変化		

学期	月	学習内容(単元名)	配当時間	評価規準
2 学期	9	第4章 第一次世界大戦と大正デモクラシー	8	・第一次世界大戦について多面的・多角的に考察し、日本の社会経済に及ぼした影響について理解しているか。
		1 第一次世界大戦と日本の外交		
		2 大正デモクラシーの高まりと政党		
		3 国際協調と軍縮の進展		・女性解放運動や部落解放運動などの様々な社会運動が起きた背景について関心を持ち、意欲的に取り組めたか。
		4 政党政治の時代		
		5 大戦中から戦後の経済と社会		
		6 都市化と大衆文化		
		第5章 第二次世界大戦と日本		・テロ事件や思想弾圧などを踏まえ、軍部の政治関与が増大した過程を考察できたか。また、日中戦争や太平洋戦争の背景について理
		1 昭和恐慌		

2 学期	10	2 協調外交のゆきづまり	12	解しているか。
		3 満州事変から国際的孤立へ		
		4 軍部の政治的台頭		
	11	5 中国との戦い		
		6 第二次世界大戦と世界新秩序		・日本がアジア諸国に多大な損害を与えたことや、広島と長崎への原
		7 太平洋戦争		弾投下などにより、国民が多大な戦禍を被ったことに着目できたか。
		8 日本の敗北		
	11	第6章 占領下の日本	8	・GHQによる諸政策が、対日占領政策に基づくとともに、日本の戦争
		1 占領政策の展開		に対する反省の上に実施されたことに気付いたか。また、サンフラン
	12	2 戦後民主主義の定着		シスコ平和条約の調印による主権回復の意義と、安全保障をアメリ
		3 政治・経済の再建		カに依存する日米安全保障条約締結の意味を考察できたか。
		4 独立の回復		

学 期	月	学習内容(単元名)	配 当 時 間	評価規準
3 学期	1	第7章 日本の自立と経済成長	6	・外交と政治の再編過程を把握するとともに、経済の国際化や生活意
		1 55年体制の成立		識価値観の変化などに着目して、日本経済の発展と国民生活の変化
		2 安保体制下の日本		について考察できたか。
		3 高度成長の光と影		
	2	第8章 現代の世界と日本	7	・世界情勢の変化に伴う日本国内の状況について、多面的・多角的に
		1 激動する世界		考察できたか。
		2 国内政治の再編成		・テロに対する日本政府の基本姿勢や地球環境問題に対して、日本
		3 アジア・太平洋地域と日本		国民として自覚を持って取り組めたか。
		4 21世紀の課題		
	3	現代からの探求	4	・研究課題の研究に必要な情報を収集・分析して考察できたか。
				・課題解決に向けた自分の考えをまとめて表現できたか。

令和2年度 (数学) 科 シラバス

教科 科	数学科	科 目	数学Ⅱ		単 位 数	3単位	学 年	看護科 2 年
教科 書	新編 数学Ⅱ (数研出版)		副 教材	Study-Up ノート 数学Ⅱ (数研)				
評価 方法	・定期考査 ・課題テスト ・提出物							

学期	月	学習内容(単元名)	配当時間	評価規準
1 学期	4月	式と計算	7	3次式の展開・因数分解公式を使うことができる
	整式の割り算ができる			
	5月	分数式の四則計算ができる		
	等式・不等式の証明	8	恒等式を理解している	
			等式, 不等式の証明ができる	
	6月	複素数と2次方程式の解	8	複素数の四則計算ができる
	複素数の範囲で2次方程式が解ける			
判別式を理解している				
高次方程式	8	解と係数の関係を理解し, 使うことができる		
		剰余定理, 因数定理を理解している		
7月	高次方程式を解くことができる			
2 学期	9月	図形と方程式	8	2点間の距離, 内分点, 外分点の座標を求めることができる
	直線の方程式と2直線の関係を理解している			
	10月	円の方程式を理解している		
	軌跡と領域	6	軌跡を求めることができる	
			不等式の表す領域を描くことができる	
	三角関数	10	一般角と弧度法を理解している	
			三角関数のグラフの性質を理解し描くことができる	
指数関数	10	有理数指数の累乗を理解し, 累乗計算ができる		
12月	指数関数のグラフの性質を理解し描くことができる			
3 学期	1月	対数関数	10	対数の定義と性質を理解している
	対数関数のグラフの性質を理解し描くことができる			
	微分係数と導関数	10	微分係数, 導関数を理解し求めることができる	
			接線の方程式を求めることができる	
	関数の値の変化	10	増減表により関数のグラフをかくことができる	
			関数の最大値・最小値を求めることができる	
	積分法	10	不定積分, 定積分の計算ができる	
3月	直線や曲線で囲まれた図形の面積を求めることができる			

令和2年度 (理) 科 シラバス

教科	理科	科目	生物基礎	単位数	3単位	学年	看護科 2 年
教科書	高等学校 改訂 新生物基礎(第一学習社)			副教材	改訂 ネオパルノート生物基礎(第一学習社), フォトサイエンス生物図録(数研出版)		
評価方法	・出席状況 ・定期考査 ・授業への取り組み(関心・意欲・態度) ・課題テスト ・小テスト ・週課題 ・提出物(宿題, 実験レポート) ・探究活動への取り組み(意欲, 技能, 考察力)						

学期	月	学習内容(单元名)	配当時間	評価規準
1 学期	4	第1章 生物の特徴 第1節 生物に見られる多様性と共通性	8	・真核生物と原核生物の構造について関心をもち、意欲的に学習する態度を示す。 ・原核細胞と真核細胞について理解する。 ・生物のもつ共通性について理解する。 ・真核細胞の構造と、各細胞小器官の働きの概略を理解する。 ・顕微鏡の扱い方、観察材料に応じたプレパラートの作成法を習得している。
	5	第2節 細胞とエネルギー	13	・異化と同化の違いや、酵素の働きに関心をもち、代謝について意欲的に学習する。 ・異化と同化の関係や、酵素の基本的な特徴について理解する。 ・ATPの構造と役割を理解する。 ・光合成の概要について理解する。 ・呼吸の概要について理解する。 ・ATPがエネルギーの通貨と呼ばれる理由を、その構造を理解した上で論理的に考察する。
	6	第2章 遺伝子とその働き 第1節 遺伝子とDNA	7	・形質、および核・染色体・DNA・遺伝子の関係について理解している。 ・塩基の相補性、DNAの二重らせん構造の特徴を理解している。 ・遺伝子研究の歴史から、どのような推測がなされて実験が行われ、その結果からどのような事実がわかったのかを理解する。
		第2節 遺伝子の働き	9	・転写と翻訳の過程の特徴を科学的に理解しようとする。 ・生命活動を営む上で重要な役割を担うタンパク質が、DNA、RNAを介して合成されることを科学的に説明できる。
	7	第3章 体内環境と恒常性 第1節 生物の体内環境	6	・体液の関心に関心をもち、理解しようとする。 ・各血球や血しょうの特徴や働きを理解している。 ・ヒトの心臓や血管、リンパ管の構造と血液循環の経路について理解している。 ・血液凝固の過程を理解している。 ・ヘモグロビンの性質を理解し、赤血球の酸素の運搬について科学的に考察して説明できる。

学期	月	学習内容(单元名)	配当時間	評価規準
	9	第1節 生物の体内環境	7	・腎臓の構造とろ過・再吸収による尿の生成に関心をもち、体液の濃度の維持との関係を科学的に理解しようとする。 ・肝臓の働きとして、体温の維持、血糖量の調節、赤血球の分解、解毒、胆汁や尿素の合成などがあることを理解している。
	α	第2節 体内環境を維持するしくみ		・体内環境が維持されるしくみについて関心をもち、意欲的に学習しようとする。 ・交感神経と副交感神経の分布と働きを理解している。 ・交感神経と副交感神経が拮抗的に働くことに理解し、科学的に理解しようとする。

2 学 期	10		18	・ホルモンが作用するしくみについて興味をもち、科学的に理解しようとする。 ・糖尿病やその治療方法などについて関心をもち、意欲的に学習しようとする。 ・さまざまな内分泌腺とホルモンの働きを理解している。 ・ホルモンの分泌調節のしくみとしてフィードバック現象を理解している。 ・血糖量が自律神経系とホルモンによって調節されていることを理解している。
	11	第3節 生体防御	10	・免疫に関心をもち、意欲的に学習しようとする。 ・抗体が特定の抗原と結合し、抗原抗体反応を起こすことを理解している。 ・体液性免疫と細胞性免疫の違いについて理解している。 ・予防接種や血清療法の原理を科学的に説明できる。 ・アレルギーや自己免疫病の起こるしくみを理解している。 ・拒絶反応が起こるしくみについて、科学的に説明することができる。 ・エイズが発症するしくみについて、科学的に説明することができる。 ・ヒトのABO式血液型について科学的に理解し、異なる血液型の間の輸血が危険な理由を論理的に説明できる。
	12	第4章 植生の多様性と分布 第1節 植生と遷移	7	・生物を取り囲む環境について関心をもち、意欲的に学習しようとする。 ・光-光合成曲線を理解している。 ・陽生植物、陰生植物、陽葉、陰葉について理解している。 ・森林は、いくつかの階層に分けられ、林冠、林床が存在することを理解している。 ・遷移の概念について理解している。 ・遷移における土壌の形成や光環境の変化と植生の遷移の関係を科学的に理解し、説明できる。

学 期	月	学 習 内 容 (単 元 名)	配 当 時 間	評 価 規 準
3 学 期	1	第2節 気候とバイオーム	5	・陸上の生物集団の成り立ちに関心をもち、バイオームについて理解しようとする。 ・気温と降水量の違いによって異なるバイオームが形成される理由を論理的に説明できる。 ・世界のさまざまなバイオームの分布と、それぞれに生育する特徴的な植物種を理解している。 ・日本のバイオームの水平分布と、本州中部における垂直分布のようすを理解している。
	2	第5章 生態系とその保全 第1節 生態系と物質循環	10	・生態系の成り立ちについて関心をもち、意欲的に理解しようとする。 ・生態系の構造を理解している。 ・食物網について理解している。 ・生態系ピラミッドにおいて、栄養段階が上がるにつれて数などが小さくなることを理解している。 ・生態系では、物質が循環していることを理解している。
	3	第2節 生態系のバランスと保全	5	・生態系のバランスについて関心をもち、意欲的に理解しようとする。 ・生態系を構成する生物は、変動をくり返しなが、バランスを維持していることを理解している。

令和２年度 （保健体育）科 シラバス

教科	保健体育	科目	体育	単位数	3単位	学年	看護科 2年
教科書	現代高等保健体育改訂版(大修館)		副教材				
評価方法	・出席状況 ・意欲, 態度 ・新体力テストの記録 ・実技テスト ・ワークシート ・個人評価						

学期	月	学習内容(単元名)	配当時間	評価規準
1 学期	4	体づくり運動	4	主体的・積極的に取り組むことができる。 自身のねらいに応じて、体力を高める運動が選択できている。
		体育理論	2	技術と技能の違いが理解できている。 停滞現象として、スランプとプラトーがあることを理解できている。
	5,6	集団行動	12	集団として必要な行動の仕方を身に付けている。
		新体力テスト		自己の目標を立てて取り組むことができる。
	6,7	球技(バレーボール)	12	主体的・積極的に取り組むことができる。
				サーブの打ち方を理解し、ゲームで使うことができる。
				ボールをつなげることを意識し、ゲームができている。 怪我の予防やルールが守られている。

学期	月	学習内容(単元名)	配当時間	評価規準
2 学期	9	体づくり運動	4	主体的・積極的に取り組むことができる。 自身のねらいに応じて、体力を高める運動が選択できている。
		ダンス	7	主体的に取り組むことができる。 音楽に合わせて仲間と対応して踊ることができる。
	10,11	球技(バドミントン)	16	主体的・積極的に取り組むことができるか。 コミュニケーションを取りながらゲームを展開することができる。
				協調性を持ち積極的に役割を果たしている。
	11,12	球技(バスケットボール)	16	協調性を持ち、積極的に取り組むことができる。
				ルールを理解し、審判などの運営ができている。
				いろいろなパスの種類があることを理解できている。
				ドリブルシュートの方法を理解できている。
	12	体育理論	2	ルールを守ることができる。
				調整力の基礎的メカニズムが理解できている。 体力の構成要素が理解できている。

学期	月	学習内容(単元名)	配当時間	評価規準
	1	体づくり運動	2	主体的・積極的に取り組むことができる。 自身のねらいに応じて、体力を高める運動が選択できている。
		陸上競技(持久走)	4	自己の目標を立てて取り組むことができる。
				自己の体力に応じて、積極的に取り組むことができる。

3 学 期	1,2	球技(バスケットボール)	10	主体的に取り組むことができている。
				学習した知識や技能を活用しながら、ゲームができている。
				作戦を意識し、改善しながらゲームができている。
				ドリブルシュートが身に付いている。
	2,3	球技(バドミントン・バレーボール・バスケットボール・卓球)	12	学習した知識や技能を活用しながら、ゲームができている。
				ゲームの展開を工夫できている。
				健康・安全に留意し、各運動種目のルールが守られている。
	3	体育理論	2	適したトレーニング方法の選び方や運動強度の設定が理解できている。
				グループに分かれて、各運動種目における怪我について話し合うことができ

令和2年度 (外国語) 科 シラバス

教科	外国語科	科目	コミュニケーション英語Ⅱ		単位数	2単位	学年	看護科 2 年
教科書	MY WAY English CommunicationⅡ(三省堂)		副教材	VITAL3000 英単語・熟語 (文英堂)				
評価方法	・授業への取り組み(関心・意欲・態度) ・提出物(宿題, プリント等) ・定期考査 ・課題テスト ・小テスト ・暗唱テスト							

学期	月	学習内容(単元名)	配当時間	評価規準
1 学期	4 5	Lesson1 Pictograms ・身近にあるピクトグラム、国や地域によって異なるピクトグラム、日本発祥のピクトグラムなどについて学ぶ。 SVC / SVO / SVO(O=if節) / SVC (C=過去分詞)	13	ペアや全体での活動において積極的に取り組んでいる 正しい発音で情報や考えを適切に伝えているか 情報や考えを聞いたり、読んだりして理解できているか
	6 7	Lesson2 A New Way to Clean Up the Ocean ・あるオランダ人の若者による海のプラスチックごみ回収のための取り組みや、その挑戦する姿勢について学ぶ。 SVO1O2(O2=if節、that節、what節) / it seems that ~	14	ペアや全体での活動において積極的に取り組んでいる 正しい発音で情報や考えを適切に伝えているか 情報や考えを聞いたり、読んだりして理解できているか 異なる文化について理解しようとしているか 辞書で調べたり、学んだ表現を使って英文を簡潔に書くことができるか
2 学期	9 10	Lesson3 Cuba ・キューバの歴史が生み出した文化的な特徴や、平等と助け合いに重点を置いた社会制度について学ぶ。 It is ... to不定詞 / It is ... that ~ / 形式目的語	14	ペアや全体での活動において積極的に取り組んでいる 正しい発音で情報や考えを適切に伝えているか 情報や考えを聞いたり、読んだりして理解できているか 異なる文化について理解しようとしているか 辞書で調べたり、学んだ表現を使って英文を簡潔に書くことができるか
	11 12	Lesson4 The World's Poorest President ・「世界で最も貧しい大統領」と呼ばれたウルグアイのホセ・ムヒカ元大統領の「幸せ」についての考え方を学ぶ。 SVOC(C=動詞の原形、過去分詞) / SVO+(to)不定詞	13	ペアや全体での活動において積極的に取り組んでいる 正しい発音で情報や考えを適切に伝えているか 情報や考えを聞いたり、読んだりして理解できているか 異なる文化について理解しようとしているか 辞書で調べたり、学んだ表現を使って英文を簡潔に書くことができるか

学期	月	学習内容(単元名)	配当 時間	評価規準
3 学期	1 2	Lesson5 Eye Contact ・デフリンピックに参加したろう者女子 サッカー選手からアイコンタクトの大切 さを学ぶ。 関係代名詞 / 前置詞＋関係代名詞 / 関係代名詞・関係副詞の非制限用法	11	ペアや全体での活動において積極的に取り組んでいる 正しい発音で情報や考えを適切に伝えているか 情報や考えを聞いたり、読んだりして理解できているか
	3	文法のまとめ ・itのはたらきについて整理する。 Activity Corner 1 ・「聞き直す」「望む」表現を学ぶ。	5	ペアや全体での活動において積極的に取り組んでいる 正しい発音で情報や考えを適切に伝えているか 情報や考えを聞いたり、読んだりして理解できているか

令和2年度 家庭科 シラバス

教科 科	家庭	科 目	家庭基礎		単 位 数	2単位	学 年	看護科 2 年
教科 書	家庭基礎 明日の生活を築く(開隆堂)			副 教 材	ライブビュー家庭科 資料+食品成分表(東京書籍)			
評 価 方 法	・出席状況 ・定期考査 ・学校家庭クラブ活動への参加 ・授業への取り組み(関心・意欲・態度) ・実験・実習及び実技テスト(技能) ・課題レポート等の提出物(思考・判断・表現) ・ホームプロジェクト(実施状況・発表)							

学期	月	学習内容(単元名)	配当時間	評価規準
1 学期	4	「家庭基礎の学習について」 1 人生を見通し、共に生きる (1) 青年期の自立と家族・家庭 ①これからの自分の人生 ②青年期の自立 ③人生の課題と意思決定	6	・人の一生を生涯発達の見点で捉え、各ライフステージの特徴と課題について考え、理解している。 ・男女の社会的役割について理解し、青年期をどのように生きるか具体的に考えることができる。 ・将来の自分の家族を想定し、男女が相互に協力して家庭を築くことの必要性について、自分の考えをまとめ表現することができる。 ・生活課題の解決に向けて必要な情報を収集・整理し、自らが主体的に意思決定し、責任を持って行動することの重要性がわかる。
	5 6	2 生活を営み、自立する (1) 食事と健康 ①栄養と食事 ②食品と調理	16	・食生活に関心をもち、青年期と家族の各ライフステージの栄養的特徴を理解している。 ・日常用いられる食品の栄養的特質、調理上の性質について科学的に理解している。 ・自分の食生活を振り返り、現代の食生活の傾向と問題点、食事と健康の関わりについて考え、まとめたり発表したりできる。 ・調理実習を通して、食生活に必要な基礎的な調理技術を身に付けている。 ・食品の選択と衛生について関心をもち、必要な知識と技術を身に付けている。 ・資源・エネルギーに配慮した食生活のあり方について、課題解決に向けて具体的に考え、工夫しようとしている。
	7	ホームプロジェクトと 学校家庭クラブ活動	3	・ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動について関心をもち、研究の進め方を理解し、主体的に学習活動に取り組もうとしている。
	8	ホームプロジェクトの実践		(夏季休業中に実践した研究内容を9月に発表)

学期	月	学習内容(単元名)	配当時間	評価規準
2 学期		ホームプロジェクト発表会		・ホームプロジェクトを通して、生活上の課題を見だし、その解決を目指して、科学的に探求し、わかりやすく表現している。 ・計画に沿って実践できている。
	9	1 人生を見通し、共に生きる (3) 高齢期を見通す ①高齢期の生活と課題 ②高齢者と関わる ③高齢社会を生きる	8	・高齢者が社会の一員として自立した生活を送ることの重要性を理解し、人生を全うするためにはどのような支援ができるか考え、まとめたり、発表したりできる。 ・高齢者の身体的特徴と心理的特徴の概要を理解している。 ・高齢者や高齢者を取り巻く社会の課題について具体的に考えている。 ・学習内容に関心をもち積極的に高齢者と関わるができる。 ・生活の課題や生きがいについて考えをまとめたり発表したりできる。 ・高齢者の福祉に関する基礎的な知識を身に付けている。

2 学 期	10	1 人生を見通し、共に生きる (4) 共生社会と福祉 ① 家族・家庭と社会的支援 ② 共生とコミュニティ	6	・共生社会の重要性について理解し、共生社会における家庭や地域の一人として主体的に行動しようとしている。 ・自分の住んでいる地域のコミュニティ活動等について、必要な情報を収集・整理することができる。 ・共生社会を作っていくために社会の一人として自分に何ができるかを考え、工夫しようとしている。
	11	2 生活を営み、自立する (4) 生涯の経済計画 ① 生活に必要な費用と管理 ② 将来を見通した経済計画 (5) 消費者としての自立と社会参加 ① 社会の変化と消費者問題 ② 消費者の権利と責任	8	・生涯を見通した経済計画について考えようとしている。 ・家計と経済社会との関わりを理解している。 ・生涯を見通した経済計画の重要性を理解している。 ・財・サービスに関する正確な情報を入手するために、生活情報の特徴や課題について考え、工夫している。 ・消費者の権利や消費者支援の制度に関心を持ち、消費者保護の施策、消費者の権利と責任について理解している。 ・消費生活に関する情報を収集・整理し、生活の質の向上にはどのような消費生活を築けばよいか考え、工夫している。
	12	(6) ライフスタイルと環境 ① 消費生活と環境とのかかわり ② 持続可能な社会に向けて	3	・消費社会の現状と持続可能な消費の重要性について理解している。 ・持続可能な消費行動について考え、自らの生活を振り返り改善しようとしている。 ・地球環境保全に貢献できるライフスタイルについて考えようとしている。

学 期	月	学習内容(単元名)	配 当 時 間	評価規準
3 学 期	1	1 人生を見通し、共に生きる (2) 次世代を育む ① 子どもとのかかわり ② 子どもの育つ環境	8	・子どもの健全な発達を支える親やまわりの大人の役割について考え、まとめたり、発表したりできる。 ・子どもの発達や生活の概要を理解している。 ・子どもや子どもを取り巻く社会の課題について具体的に考えている。 ・子どもの発達と遊びや環境との関わりについて理解している。 ・遊びの意義や児童文庫の子どもへの影響について考えをまとめたり発表したりできる。 ・子どもを取り巻く環境整備と社会全体で子育てを支援する必要性を理解している。 ・子どもの権利や福祉について、必要な情報を収集・整理することができる。
	2	2 生活を営み、自立する (2) 被服の管理と着装 ① 被服の機能と着装 ② 被服の管理と計画	8	・衣生活の管理に必要な情報を収集・整理することができる。 ・高校生の着装に関心をもって学習に取り組み、被服の社会的機能を活かした青年期の着装について工夫しようとしている。 ・被服の入手、洗濯、保管などの被服管理について科学的に理解している。 ・被服の入手、洗濯、保管など衣生活の管理ができる。 ・被服材料、被服の構成、サイズの適切な選択について考え工夫している。
	3	(3) 住居と住環境 ① ライフステージと住まい ② 快適で安全な住まい ③ 住まいの環境	4	・住生活の計画に必要な情報を収集・整理することができる。 ・ライフスタイルや価値観に応じた適切な住居の主体的な選択について考え、工夫している。 ・居住環境と住環境をについて理解し、安全性、保健性、利便性、快適性、持続可能性などの面からよりよい住環境について考えている。 ・地域コミュニティとの関わりや気候風土に応じた住まい方など、住居の文化的側面を理解している。

令和2年度 (看護) 科 シラバス

教科 科	看護	科 目	基礎看護		単 位 数	3単位	学 年	看護科2年
教科 書	基礎看護(教育出版)			副 教 材	基礎看護技術Ⅰ・Ⅱ(医学書院)、DVD、プリント、問題集			
評価 方法	・出席状況 ・定期考査 ・授業への取り組み(関心・意欲・態度) ・課題テスト ・小テスト ・週課題 ・提出物(宿題, 実験レポート) ・探究活動への取り組み(意欲, 技能, 考察力)							

学期	月	学習内容(单元名)	配当時間	評価規準
1 学期	4 5	診察と看護 (診察・検査と看護)	7	診察・検査における看護者の役割について理解している。
				診察介助、身体各部の計測、主な検査と看護について理解している。
				デモンストレーション: 計測(身長、腹囲、皮下脂肪厚)
	5 6	日常生活と看護 (食生活の援助)	17	食事の意義を理解している。
				対象にあわせた食事介助を行うことができる。
				実習: 食事介助
				経静脈栄養について理解している。
				経管栄養を行うことができる。
				実習: 経鼻経管栄養(モデル人形使用)
	6	診察と看護 (電法・保温)	7	電法・保温の種類と目的について理解し、安全で効果的な電法を行うことができる。
				温度刺激に対する生体反応を理解している。
	6 7	日常生活と看護 (排泄の援助)	10	排泄の生理、排泄に影響を及ぼす因子について理解している。
				便器、尿器を用いた排泄の援助の注意事項とその根拠を理解することができる。
				膀胱内留置カテーテルを使用して導尿、おむつ交換を行うことができる。

学期	月	学習内容(单元名)	配当時間	評価規準
2 学期	9 10	日常生活と看護 (排泄の援助)	14	プライバシーや羞恥心への配慮が必要なことを理解している。
				浣腸実施時の注意点とその根拠を理解することができる。
				実習: おむつ交換、持続的導尿、浣腸
				デモンストレーション: 便器のあて方
	10 11	日常生活と看護 (睡眠と休息の援助)	4	睡眠・休息の生体に及ぼす意義について理解している。
		診察と看護 (与薬)	25	睡眠・休息の意味と看護者の役割について理解している。
				与薬の過程と看護者の役割を理解している。
				内服薬の種類、経口与薬の方法を理解している。
				薬物の適切な管理や取り扱い方法を理解している。
				無菌法を理解し、適切に注射を行うことができる。
2				実習: アンプルからの吸引、バイアルからの吸引

学期				皮下注射, 筋肉内注射, 点滴静脈内注射
				輸液ポンプ・シリンジポンプの取り扱いを理解している。
	11 12	看護活動 (看護過程)	7	看護過程の5つ構成要素について理解している。 看護過程を用いる利点がわかり, 看護過程を展開しようとしている。

学期	月	学習内容(单元名)	配当 時間	評価規準
3 学期	1 2	診察と看護 (創傷管理)	5	創傷の治癒に必要な基礎知識を理解している。
				創傷の観察と援助の必要性を理解している。
				デモンストレーション: ドレッシング材の貼り方、剥がし方
				包帯の目的と種類を理解している。
				巻軸帯, 三角巾を用いた包帯法を行うことができる。
				実習: 巻軸帯の巻き方, 三角巾の使用法
	2 3	看護活動 (看護過程)	9	
				アセスメントについて理解できる。
				情報が持つ意味を考え, 分析できる。
				看護過程の構成要素の各段階について理解している。

令和2年度 (看護) 科 シラバス

教科	看護科	科目	人体と看護(栄養)		単位数	1単位	学年	看護科 2 年
教科書	高等学校用 人体と看護(教育出版)			副教材				
評価方法	・出席状況 ・定期考査 ・授業への取り組み(関心・意欲・態度) ・提出物(ワークシート, 作品など) ・小テスト							

学期	月	学習内容(单元名)	配当時間	評価規準
1 学期	4	第1章 栄養素と食品 第1節 栄養と看護	2	栄養における看護師の役割について理解できているか。
	5	第2節 栄養素の種類とその性質 第1 炭水化物	11	栄養(炭水化物)の種類とその性質について理解できているか。
	6	第2 脂質 第3 たんぱく質 第4 ミネラル 第5 ビタミン		栄養(脂質)とその性質について理解できているか。 栄養(たんぱく質)とその性質について理解できているか。 ミネラルの種類とその性質について理解できているか。 ビタミンの種類とその性質について理解できているか。

学期	月	学習内容(单元名)	配当時間	評価規準
2 学期	9	第2章 栄養と生命維持 第1節 食物摂取と消化・吸収 第2節 栄養素の体内代謝	5	三大栄養素の体内での代謝について理解できているか
	10	第3節 エネルギー代謝 第4節 日本人の食事摂取基準	3	三大栄養素のエネルギー代謝について理解できているか 食事摂取基準の意義やその判定について理解できているか。
	11	第5節 栄養状態の判定 第4章 病態と栄養 第1節 食事療法の基礎	4	栄養状態の判定方法について知っているか。 食事療法の基本について理解を深めているか。また、看護師としての役割について考察しているか。
	12	第3章 ライフステージと栄養 第1節 栄養とライフステージ 第1 母体の栄養	3	出生前から、適切な栄養摂取の必要性があることを理解しているか。

学期	月	学習内容(单元名)	配当時間	評価規準
3 学期	1		0	
	2	第3章 ライフステージと栄養 第1節 栄養とライフステージ 第2 出生から乳幼児の栄養 ～第6 老年期の栄養	3	出生から小児期, 思春期・青年期, 成人期, 老年期の各期において、適切な栄養について理解しているか。
	2	第4章 病態と栄養 第2節 主な疾患と食事療法 第1 消化器疾患	4	既習の主な消化器疾患である、胃・十二指腸潰瘍、潰瘍性大腸炎、クローン病、膵炎、肝炎の食事療法について理解できているか。 既習の主な循環器疾患である高血圧症、動脈硬化症、うっ血性心不全の食事療法について理解できているか。
	3	第3 循環器疾患 第4 腎疾患		主な腎疾患である急性腎炎症候群、ネフローゼ症候群、慢性腎臓病の食事療法について理解できているか。

令和2年度 (看護) 科 シラバス

教科	看護	科目	人体と看護(微生物)		単位数	1単位	学年	看護科2年
教科書	人体と看護(教育出版)			副教材	系統看護学講座 専門基礎分野 微生物学(医学書院)			
評価方法	・出席状況 ・定期考査 ・授業への取り組み(関心・意欲・態度) ・発表 ・小テスト ・提出物(ノート・プリント・問題集) ・週課題							

学期	月	学習内容(单元名)	配当時間	評価規準
1 学期	4	微生物とは	3	微生物の種類がわかるか。
				微生物の種類別の大きさがわかるか。
				細菌の形をまとめているか。
				グラム染色の意味が理解できるか。
	5	微生物の増殖	2	細菌の増殖条件についてまとめているか。
				ウイルスの増殖過程をまとめているか。
		病原微生物	2	微生物には病原性と非病原性があることを理解しているか。
				外毒素・内毒素をまとめているか。
	6	感染と発病	2	顕性感染と不顕性感染の意味と違いを理解しているか。
				感染症と伝染病の意味と違いを理解しているか。
		人体の防御機構	3	正常細菌叢・宿主の防御機構をまとめているか。
				免疫の意味を理解させ、免疫応答反応についてまとめているか。
	7	滅菌と消毒	4	液性免疫と細胞性免疫についてまとめて整理させる。
				滅菌と消毒を理解し、活用できる。
				主な消毒剤についてまとめ、日常生活に活用できているか。

学期	月	学習内容(单元名)	配当時間	評価規準
2 学期	9 10	各種の病原微生物の特徴	5	
		細菌		感染症の原因となる主な細菌についてまとめている。
				感染症の原因となる主な細菌と感染症との関係についてまとめている。
2 学期	10	各種の病原微生物の特徴	1	
		リケッチア		感染症の原因となる主な細菌・リケッチアについてまとめている。
				感染症の原因となる主な細菌・リケッチアと感染症との関係についてまとめている。
	11	各種の病原微生物の特徴	1	
		クラミジア		感染症の原因となる主なクラミジアについてまとめている。
				感染症の原因となる主なクラミジアと感染症との関係についてまとめている。

11 12	各種の病原微生物の特徴	6	
	ウイルス		感染症の原因となる主なウイルスについてまとめている。
			感染症の原因となる主なウイルスと感染症との関係に
			ついてまとめている。

学期	月	学習内容(単元名)	配当 時間	評価規準
3 学期	1 2	各種の病原微生物の特徴	3	
		ウイルス		感染症の原因となる主なウイルスについてまとめている。
				感染症の原因となる主なウイルスと感染症との関係に
				ついてまとめている。
	3	感染症の治療	3	
		化学療法		化学療法の概要についてまとめているか。

令和2年度 (看護) 科 シラバス

教科	看護科	科目	疾病と看護(外科)		単位数	0.5単位	学年	看護科 2 年
教科書	疾病と看護(教育出版)		副教材	成人看護学<呼吸器><循環器><消化器><内分泌・代謝><脳・神経>(医学書院)、病態生理学(医学書院)、DVD、プリント、問題集				
評価方法	・出席状況 ・定期考査 ・授業への取り組み(関心・意欲・態度) ・課題テスト ・小テスト ・週課題 ・提出物(宿題, 実験レポート) ・探究活動への取り組み(意欲, 技能, 考察力)							

学期	月	学習内容(单元名)	配当時間	評価規準
1 学期	4	別巻 臨床外科看護学総論	1	
		第2章 外科的治療を支える分野		麻酔法について理解している。
	5	第3章 外科的治療の実際	1	外科的基本手技について理解している。
	6	成人看護学 消化器 第4章 検査と治療・処置	1	疾病の検査と治療・処置について理解している。
				手術療法について理解している。
	7	第5章 疾患の理解 B.胃・十二指腸疾患	9	胃がんの成り立ちについて理解している。
				胃がんの回復の過程について理解させる。
				胃がんの検査について理解させる。
		C.腸および腹膜疾患		ヘルニアの成り立ちについて理解している。
				ヘルニアの回復過程について理解している。
				ヘルニアの検査について理解している。
				結腸がん、直腸がんの成り立ちについて理解している。
				結腸がん、直腸がんの回復過程について理解している。
				結腸がん、直腸がんの検査について理解している。
		D.肝臓・胆嚢の疾患		肝臓癌の成り立ちについて理解している。
				肝臓癌の回復過程について理解している。
				肝機能の検査について理解している。
				胆石症の成り立ちについて理解している。
				胆石症の回復過程について理解している。
				胆石症の検査について理解している。

学期	月	学習内容(单元名)	配当時間	評価規準
2 学期	9	成人看護学 呼吸器疾患 第5章 疾患の理解	4	肺腫瘍の種類と成り立ちについて理解している。
				肺腫瘍の回復過程について理解している。
				肺腫瘍の検査について理解している。
		I.胸膜・縦隔・横隔膜の疾患		自然気胸の発生機序、成り立ちについて理解している。
				自然気胸の回復過程について理解している。
				呼吸機能検査について理解している。
		2学期末考査		

令和2年度 (看護) 科 シラバス

教科 科	看護科	科 目	疾病と看護(薬理)		単 位 数	1単位	学 年	看護科 2 年
教科 書	疾病と看護(教育出版)		副 教 材	系統看護学講座 専門基礎分野 薬理学 疾病の成り立ちと回復の促進③(医学書院)				
評価 方法	・出席状況 ・定期考査 ・授業への取り組み(関心・意欲・態度) ・パソコンの操作(技能, 表現) ・提出物(ワークシート, 作品など) ・発表							

学期	月	学習内容(单元名)	配当時間	評価規準
1 学期	4	第1部 薬理学総論 第1章 薬理学を学ぶにあたって	3	薬物における看護師の役割について理解できているか。
	5	第2章 薬理学の基礎知識 A:薬が作用するしくみ B:薬の体内の挙動	12	薬の作用や薬物動態について理解できているか。
	6	C:薬物相互作用 D:薬効の個人差に影響する因子 E:薬物使用の有益性と危険性		薬の相互作用にはどのようなものがあるか分かっているか。 薬には作用の反面, 副作用がある事を把握し, 看護師としての役割を考えているか。
	7	F:薬と法律 1学期末考査		薬と法律について, 把握できているか。

学期	月	学習内容(单元名)	配当時間	評価規準
2 学期	9	第2部 薬理学各論 第1章 抗感染症薬	4	感染症治療薬にはどのようなものがあるか把握しているか。 それぞれの特徴, 違いを理解しているか。
	10	第4章 抗アレルギー薬・抗炎症薬	3	非ステロイド性抗炎症薬とステロイド性抗炎症薬の作用など, その特徴を理化しているか。
	11	第5章 末梢での神経活動に作用する	2	自律神経および交感神経, 副交感神経について既習の知識と照らし合わせ, その薬の特徴などを把握できているか。
		第6章 中枢神経系に作用する	2	全身麻酔薬について, 既存の知識をもとに, 理解を深めているか。
	12	第7章 心臓・血管系 A:抗高血圧薬 B:狭心症治療薬 2学期末考査	4	既習の疾患について, その病態から復習でき, 治療薬に対する理解を深めているか。また, 看護師としての役割について考察しているか。

学期	月	学習内容(单元名)	配当時間	評価規準
3 学期	1	C:心不全治療薬	1	他科目で学んだ知識を整理し, 心不全の治療について理解を深めているか。
		第8章 呼吸器・消化器 A:気管支喘息治療薬 B:鎮咳薬・去痰薬・呼吸促進薬 C:消化性潰瘍治療薬	3	呼吸の解剖・生理から復習し, それらの作用, 副作用が理解しているか。 消化潰瘍治療薬について理解できているか。
	3	学年末考査	1	

令和2年度 （看護）科 シラバス

教科 科	看護	科 目	疾病と看護(内科疾患)		単 位 数	1単位	学 年	看護科 2 年
教科書	疾病と看護(文部科学省)		副 教 材	系統看護学講座 内分泌・代謝, 脳神経(医学書院)				
評価 方法	・出席状況 ・定期考査 ・授業への取り組み(関心・意欲・態度) ・課題テスト ・実技テスト ・提出物(宿題, 週課題) ・小テスト ・週課題							

学期	月	学習内容(单元名)	配当時間	評価規準
1 学期	4 5 6 7	内分泌・代謝疾患 内分泌・代謝器官の構造と機能 糖尿病の概要 糖尿病の治療 糖尿病の合併症	10	内分泌・代謝器官の構造と機能について理解している。 糖尿病などの生活習慣病の動向について理解している。 生活習慣病について自らの健康問題として関心を持っている。 糖尿病の発症機序について科学的根拠をもとに述べることができる。 糖尿病の分類や検査, 診断基準について理解している。 I 型糖尿病とII 型糖尿病の病態生理を理解しているか。 糖尿病の検査とその意義を理解しているか。 インスリン治療の意義について理解しているか。 糖尿病の治療の適応について理解している。 糖尿病の慢性合併症の予防方法を理解している。 糖尿病の急性合併症の対応方法を理解している。

学期	月	学習内容(单元名)	配当時間	評価規準
2 学期	9 10 11 12	糖尿病患者の看護	3	慢性疾患の患者の心理状態を考え, 表現できている。 慢性疾患患者の看護のあり方について関心を持っている。
		脳神経疾患患者の看護 脳神経の解剖生理 脳梗塞 脳出血		脳神経の構造と機能について理解している。 意識障害の発症機序について理解している。 脳梗塞の病態について理解している。 脳梗塞の治療方法について理解している。 脳出血の病態について理解している。 脳出血の治療方法について理解している。

		脳神経疾患の主な症状と看護 意識障害 頭蓋内圧亢進症状 嚥下障害	12	意識障害の分類・評価方法について理解している。 瞳孔反射の機序について理解している。 瞳孔反射の確認方法が理解し、実施できる。 意識障害が生命の危機を意味する病態であることが理解している。 意識障害患者の看護について理解している。 急性・慢性頭蓋内圧亢進症の示す特徴的な症状を述べることができる。 髄膜刺激症状の特徴的な症状を述べることができる。 嚥下のそれぞれの過程と、その障害によって嚥下機能に障害が起こる機序について述べることができる。
--	--	---	----	--

学期	月	学習内容(单元名)	配当時間	評価規準
3 学期	1 2 3	運動麻痺 高次脳機能障害 言語障害 失行・失認	10	中枢性運動麻痺と末梢性運動麻痺それぞれの神経伝達経路の障害について述べることができる。 麻痺の種類について理解している。 運動麻痺のある患者の心理状態について関心を持ち、表現できる。 運動麻痺のある患者の看護のあり方について考え述べることができる。 構音障害と失語症の違いを述べることができる。 失行・失認について理解している。 失行・失認のある患者の看護について理解している。 高次脳機能障害のある患者や家族の心理状態について関心を持ち表現できる。 高次脳機能障害のある患者の看護のあり方について考え述べることができる。

令和2年度 (看護) 科 シラバス

教科	看護	科目	疾病と看護(病理)		単位数	0.5単位	学年	看護科2年
教科書	疾病と看護(教育出版)			副教材				
評価方法	・出席状況 ・定期考査 ・授業への取り組み(関心・意欲・態度) ・課題テスト ・小テスト ・提出物(ノート・プリント) ・週課題							

学期	月	学習内容(単元名)	配当時間	評価規準
1 学期	4	病理学とは	1	病理学の意味がわかるか。
		病理学の意義		病理学の意義を理解しているか。
		病理学の実際		
	4	病気の原因	2	内因と外因が作用し合って疾病が起こることがわかるか。
		外因・内因		内因と外因の主要な因子を理解しているか。
	5	循環障害	2	
		局所性の循環障害		充血・うっ血・出血・血栓・塞栓・梗塞・側副循環を理解しているか。
		全身性の循環障害		血液循環と関連させて考えることができるか。
				貧血・ショック・浮腫を理解しているか。
	6	退行性病変	3	
		変性		変性・萎縮を理解しているか。
		萎縮		
		細胞死		壊死とアポトーシスの意味と違いを理解しているか。
	6 7	進行性病変	4	
		肥大		肥大・増生(過形成)を理解しているか。
		増生		
		再生		再生を理解し、再生する組織を説明できるか。
		化生		化生を理解しているか。
		創傷治癒		創傷治癒を理解し、適切な創傷管理に繋げることができるか。

学期	月	学習内容(単元名)	配当時間	評価規準
2 学期	9	炎症	3	
		炎症の原因		炎症の徴候を理解しているか。
		炎症に伴う局所反応と全身反応		炎症細胞を理解しているか。
		腫瘍		
	10	良性腫瘍と悪性腫瘍	3	良性腫瘍と悪性腫瘍の相違点を理解しているか。
		上皮性腫瘍と非上皮性腫瘍		上皮性腫瘍と非上皮性腫瘍の意味をまとめているか。
		悪性腫瘍の広がり方		悪性腫瘍の代表的転移様式をまとめているか。
	11			
	12			

令和2年度 (看護) 科 シラバス

教科	看護	科目	成人看護		単位数	2単位	学年	看護科 2 年
教科書	成人看護(教育出版株式会社)			副教材	系統看護学講座臨床外科看護総論, 呼吸器, 消化器(医学書院)			
評価方法	・出席状況 ・定期考査 ・授業への取り組み(関心・意欲・態度) ・課題テスト ・小テスト ・週課題 ・提出物(宿題, ノート) ・探究活動への取り組み(意欲, 考察力)							

学期	月	学習内容(単元名)	配当時間	評価規準
1 学期	4 5 6 7	機能障害と看護 手術を受ける患者の看護 術前看護 術中看護	13	
				術前検査・訓練の目的を理解しているか
				手術を受ける人やその家族が持つ問題について考え、適切に表現できているか
				術中の看護師の役割について理解しているか
				手術がもたらす生体侵襲の機序について理解しているか
	4 5	成人の生活・健康の特徴と看護	5	成人期の健康における課題を理解しているか
				自らの今後の健康問題として関心を持っているか
	5 6 7	成人期に特徴的な疾患 生活習慣病について ・メタボリックシンドローム ・高血圧・動脈硬化	8	成人期の特徴から、考えられる疾患がわかるか
				現代の社会情勢に関心を持っているか
				メタボリックシンドロームの病態を理解しているか
				高血圧や動脈硬化の状態をりかいしているか
				高血圧の治療や生活指導について述べる事ができるか
動脈硬化について理解しているか				

学期		学習内容(単元名)	配当時間	評価規準
2 学期	9 10 11 12	手術を受ける患者の看護 術後看護(術直後の観察)	13	
				術後の観察項目を理解しているか
				異常が起こす因子について考え表現できているか
				術後に起こりうる合併症の予防・早期発見の必要性を理解しているか
		術後に起こりうる合併症の予防方法を理解しているか		
		術後患者の安全・安楽を守るための看護について科学的根拠をもとに述べる		
		ことができるか		
		創傷の回復過程を理解しているか		
	創傷の回復を促す看護について科学的根拠をもとに述べることができるか			
	ドレーンの目的や管理方法について理解しているか			
	栄養摂取・代謝障害と看護 肝炎患者の看護			
肝炎の特徴を理解しているか				
肝炎患者の看護について理解しているか				

	9	肝硬変患者の看護	13	肝炎患者の看護について科学的根拠をもとに述べることができるか
	10			倦怠感の強い患者の気持ちに関心を持つことができるか
	11			肝硬変患者の看護について理解しているか
	12			肝性脳症の病態生理について理解しているか
				肝性脳症患者の看護について科学的根拠をもとに述べることができるか

学期	月	学習内容(単元名)	配当 時間	評価規準
3	1 2 3	栄養摂取・代謝障害と看護 大腸がん患者の看護	9	大腸がんの特徴を理解している
				大腸がんの看護について関心をもつことができるか
				ストーマケアについて理解しているか
		胃がん患者の看護		胃がんの特徴を理解しているか
	1 2 3	呼吸器系疾患 慢性閉塞性肺疾患(COPD) 気管支喘息 肺炎	9	
				慢性閉塞性肺疾患についての病態生理を理解しているか
				換気障害(閉塞性, 拘束性の違い)について理解しているか
				在宅酸素療法について理解しているか
				気管支喘息患者の病態生理および治療について理解しているか
				気管支喘息患者の看護について理解しているか
				肺炎の病態生理および治療について理解しているか
				肺炎患者の看護について理解しているか

令和2年度 （看護）科 シラバス

教科 科	看護	科 目	看護臨地実習			単 位 数	2単位	学 年	看護科 2 年
教科 書				副 教 材					
評価 方法	・出席状況 ・実習への取り組み(関心・意欲・態度) ・提出物(レポート, 実習記録) ・探究活動への取り組み(意欲, 技能, 考察力)								

学期	月	学習内容(単元名)	配当時間	評価規準
2 学期	12	基礎看護臨地実習オリエンテーション	2	関心, 意欲をもって授業に取り組んでいるか
				提出物の期限が守れるか
				レポートは教科書以外の文献を活用しているか
				レポートのまとめ方に工夫はあるか
				学習内容に不足はないか
				日々の言葉遣いや態度は適切か

学期	月	学習内容(単元名)	配当時間	評価規準
3 学期	1	基礎看護臨地実習	68	毎日の自己学習ができている
				経験・観察したことが明確に記録できている
				参考文献などを用い、実習内容を深められている
				専門用語が適切に用いられている
				記録類の提出期日が守られている
				実施したことが報告できている
				患者やスタッフと良好なコミュニケーションが行えている
				責任感や協調性がある
				礼儀正しくことばづかいも適切である
				清潔感があり実習にふさわしい身だしなみである
				指導を受けたときは、素直に自らを振り返り、改めている
				健康管理ができ、出席状況が良好である
				班員と協力している
		基礎看護臨地実習事後指導		実習内容を素直に振り返り、反省点を表現できている
				今後の実習へつなげようとする態度がみられる